

富士河口湖町精進地区
「精進フットパス」

富士河口湖町役場・政策財政課
企業誘致・まちづくり推進係
後藤竣亮

@活動内容・活動団体

富士河口湖町精進地区「精進フットパス」

・富士河口湖町地域おこし協力隊

と

・精進地区の活性化に取り組む町民団体

精進湖活性化協議会

が共同で取り組んでいます。

@精進湖活性化協議会について

- ・精進湖活性化協議会は、精進地区の住民が自主的に集まり、精進地区の活性化を目的に動する団体です。
- ・月2回会議を行い、イベントの企画（クリスマスパーティ、トレイルランの手伝い等）や、今年度では交付金の運営について話し合っています。
- ・設立より8年が経過しますが、現在は地域おこし協力隊の参加もあり、より活発に活動しております。役場は事務局として関わっています。

@フットパスをはじめたきっかけ

かつて「東洋のスイス」と呼ばれた精進地区ですが、少子高齢化や観光客の減少により存続が危ぶまれております。



今年度、総務省の補助金である「過疎地域等自立活性化推進交付金」が富士河口湖町「精進地区」に交付されました。



そこで、新たな観光資源を創出し、観光客を増加させ精進地区の活性化を図る目的で、世界文化遺産である「富士山」の自然を活かした、「フットパス」の開発をはじめました。

@他団体との関わり

- ・東京都町田市でフットパスの普及活動を行っている団体である「NPO法人 みどりのゆび」
→コースやマップ作成など、フットパスに関する広報など幅広く支援をしていただいている。
- ・みどりのゆびは、「町田フットパス」に取り組んでいます。町田市にある豊かな「里山」の景観を活かしたコース作りやガイドが好評価を得ており、協議会でも視察に伺いました。

@活動の成果(今年)

- ・今年度の成果＝2コースの開発と2コースのマップの完成、最も大きな成果は10月に開催されたお披露目会。20名の様々な年齢層の方に参加していただきました。「景観も空気も素晴らしい、友達を誘って皆で味わいたい」や、「箱庭のように素晴らしい景観」というご意見をいただきました。
- ・効果＝精進地区に興味を持ってくれる方が増え、コースの開発に加わっていただけの方がいらっしやった。
- ・精進地区にある原始の自然と歴史ある街並みを合わせた、背伸びしないコース作りと地元の方の心の籠ったおもてなしを実施できた。

@ 得たこと、学んだこと

・フットパスは、直接に地域経済の活性化や収益には結びつかない(ツールの1つ、単体ではできない)

→だが、地域にある歴史、自然、景観の保護に結びつく。地域の隠れた良さ・資源を、住民だけでなく、外部の視点を交えながら発見する。

→PR要素や地域のブランドを創出していく。地域全体に「お金を稼ぐ」力を持たせる。

→単体ではできないが、一つ一つの取組の成功を積み重ねて続けていくことが大切。リピーターを付ける。

→消滅可能性を低くし、地域が抱える問題(少子高齢化、観光客の減少等)の解決策へとつながると思う。

@今後の課題

- ・フットパスコースのさらなる充実(新しいコースの開発)道標の作成、コースの整備。
- ・今回は盛大におもてなしをした。→同じクオリティのおもてなしを毎回に行えない。その中でリピーターをどのように付けるか。
- ・広報のやり方変える→いくら素晴らしい企画をしても、おもてなしでもお客様が来ないと意味がない。内容自体の質を高めるだけでなく、SNSの活用やインターネット、広告技術を駆使した広報手段を考える必要がある。